

●本号の内容 ・大阪府警前で元旦行動……………p1  
 ・『賃金破壊』、各紙に書評……………p1

# 「流れを変えよう」

## 大阪府警前、400人が元旦行動

2022年のたたかいは、大阪府警前の元旦行動ではじまった。

大阪実行委員会、京滋実行委員会、大阪全労協加盟の各労組をはじめ、全港湾関西地方の各支部、郵政ユニオンなど各労組・団体から総勢400人が参加。主催者の全港湾大阪支部・小林勝彦委員長は、「今年は流れを変える年だ」



とあいさつ。関生支部から湯川裕司委員長が新年の決意を披露し、昨年12月、加茂生コン事件控訴審で逆転無罪判決となった吉田修さんもお礼のあいさつを述べた。

この日は、吉村大阪府知事の文書交通費問題の欺瞞を告発して“維新キラー”と話題の大石あきこ衆議院議員（写真左。昨年総選挙でれいわ新撰組から当選）が参加してマイクを握り、森友学園事件追及の先頭に立ってきた木村真・豊中市議も参加した。

### ●2022年初頭の主な日程

- 1月17日（月）10:00 コンプライアンス事件公判（大津地裁）
- 1月25日（火）10:00 京都事件第1回公判（京都地裁）
- 1月31日（月）10:00 大阪ストライキ1次事件控訴審（大阪高裁）
- 2月3日（木）和歌山広域協組事件、論告・弁論（和歌山地裁）
- 2月3日（木）15:00 国賠訴訟第2回口頭弁論（東京地裁）
- 2月21日（月）14:30 大阪ストライキ2次事件控訴審判決（大阪高裁）

\*\*\*\*\*

## 『賃金破壊』、各紙に紹介記事

- ・「図書新聞」（2021年12月18日号）…「21年下半年読書アンケート」のコーナーで、金平正紀さん（TVジャーナリスト）、金子勝さん（経済学者）が印象に残った本として取り上げている。（2ページ参照）
- ・「救援」（21年12月10日号、救援連絡センター）に、ヘイトスピーチに対する批判と研究で知られる前田朗さん（東京造形大教授）が長い紹介記事を書いてくれた。
- ・ジャーナリストと市民を結ぶ情報誌、月刊『マスコミ市民』22年1月号は6ページの著者インタビューを掲載している。

# 21年下半期読書アンケート

「読書は、私にとって、人生の楽しみであり、知識の獲得の場である。読書を通じて、自分自身を知り、世界を知ることができ、心豊かになる。読書は、私にとって、人生の楽しみであり、知識の獲得の場である。読書を通じて、自分自身を知り、世界を知ることができ、心豊かになる。」

く沈滞し、底へ何かに触れる実感があふ。知と美と言葉。語り口は優しいが一篇がひとつの物語に匹敵するほどの質量。

### ◎森繁岳士『ラスリブ』(青土社)

ぼんやりと抱えている不安に形が授けられ、どう思考したらよいか促される。描かれた世界は恐ろしいほど静謐で美しい。「再生」「希望」は単純なことではないけれど、この書を手元に未来を照らした。

### ◎佐藤文香『菊は書』(左右社)

十七音に象られる日常/非日常。頁の紙の潔い白さに眼を奪う。心が揺る。

## 金平 茂紀

TVジャーナリスト

①石井妙子『魂を撮ろうーユージン・ミスとアイリーの水俣』(文藝春秋)

著者の精緻な取材力に舌を捲いた。ユージンとアイリーの2人を主人公に設定し調べ尽くしている。過去についての書物ではない。「今現在の」書だ。

②立花隆『立花隆 最後に語り伝えたいことー大江健三郎との対話と長崎大学の講演』(中央公論新社)

若き立花隆が反核学毛に参加していた写真1960年

で、最新の学界動向も踏まえつつ、これまでの研究の成果をあらわす。

◎猪木武徳『社会思想としてのクラシック音楽』(新潮選書)

専門の社会思想の視点から、ことに十九世紀半ばのフランスの思想家トクヴィルの『デモクラシー』批判を引用しつつ、市場経済とデモクラシーの時代の未踏を憂へつつも、他ならぬ芸術に人間社会の未来を託する。

## 金子勝

経済学

日本の課題を考えさせる本を3冊あげたい。

まず竹信三恵子『賃金破壊ー労働運動を「犯罪」にする国』(旬報社)は、関西生コン事件を取材に基づいて書かれた本である。25年間も実質賃金低下し続ける国で起きている現実を知るために必読である。

## 川村邦光

文化史研究

「連帯を求めて孤立を恐れず、力及ばずして介れることを辞さないが、力を尽さずして挫けることを拒否する。」全共闘運動の残した言葉だが、今でも求められているか。SDGsなどと唱えて、資本主義国家は新たな装いを凝らして延命を策してやまない。だが、クレタ・トゥンバリスさんたちは奮闘している。

◎工藤正樹『断罪』(青林工藝舎)

札幌在住の、今では稀有な『ガロ』系漫画家の作品集に少なからぬ興奮を覚えた。

◎榎本了吉『幻燈記ーソコ湖黒塚洋菓子店(而立書房)』

幻想の奇書。こういう本をつくってみたいなあ。

◎他、沖縄の地方誌『越境広場』第9号(特集・沖縄から世界を問う)。(越境広場刊行